

〔石垣大志議員 登壇〕

○4番 石垣大志君 ラストバッター石垣大志でございます。平成最後の一般質問よろしくお願いたします。早速始めさせていただきます。

1. 自主財源確保について問います。(1) 南風原町中期財政計画に新たな自主財源の確保、歳入において町有財産等を有効活用した新たな自主財源の確保に努めるとありますがどのような策か問います。(2) 自主財源の推移はどのようになっているか。

大きい2番、広告及び、ネーミングライツ導入を。(1) 兼城十字路LED掲示板やホームページ等、広告掲載はしているか。(2) 黄金森公園陸上競技場において行われたスポーツ戦キャンプ等において広告掲載の検討をしたことがあるか。(3) 全国自治体及び県内でもネーミングライツによる財源確保策があるが、本町も導入を検討してはどうか。

大きい3番、特産品の海外進出について問います。(1) 海外への販路拡大をバックアップできるような支援ができないか。答弁よろしくお願いたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目、自主財源の確保について問う。(1) についてお答えします。ふるさと納税のさらなる拡充を図ることや広告収入、ネーミングライツ及び町有地を貸地として活用するなどの財源確保に努めてまいります。

(2) についてお答えします。一般財源における自主財源の推移は、平成27年度が70億2,199万4,000円、28年度が79億3,158万4,000円で伸び率13%。29年度が85億8,188万5,000円で伸び率8.2%と、自主財源は年々増加傾向にあります。

質問事項2点目の広報及びネーミングライツの導入の(1)と(3)については関連しますので一括してお答えします。現在、町の広報や納税通知等の封筒裏面を活用し広告収入を得ております。今後は、LED電光掲示板を活用した広告掲載やネーミングライツ導入も含め、自主財源確保に向けて検討してまいります。

質問事項3点目の特産品の海外進出について問うについてお答えします。現在、商工会と連携し地域ブランド構築・展開プロジェクトなどを活用した農産物や南風原良品などを県内外の販路拡大に取り組んでおります。当分は国内の販路拡大に重点を置き、今後は海外の販路拡大を視野に入れた支援について検討してまいります。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2番目の(2)についてお答えいたします。黄金森公園陸上競技場で行われるキャンプ、それから各種スポーツイベント大会のうち町陸上競技大会でのプログラムやパンフレットなどに広告を募集掲載しております。また、黄金森公園陸上競技場等のネーミングライツやイベント時の広告物の取り扱い方法については、近隣市町村や先進事例の状況を調査し、検討してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。順次再質問させていただきます。財源確保についてですが、広告収入などは歳入のどの部分に入るか教えていただけたらと思います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 広告収入の歳入は雑入の中に入っております。平成29年度実績で約222万6,000円、あくまでも広報の広告収入として222万6,000円が収入として受けております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 広告とネーミングライツを導入予定とのことですが、活用後の歳入の目標値などがあればお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 このネーミングライツ及び広告収入、これはほかにもできないかということで、今後検討していく予定ということでありまして。これも4月から実施する行政改革検討委員会の中でどういったものがあるか、調査研究して実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。命名権、ネーミングライツを活用した財源確保はさまざまあると思いますが、どの町有財産を活用していくのかお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 県内外、県外もそうですが、よくあるのがスポーツ施設等があるページ(1)

りまして、南風原町においては黄金森公園陸上競技場等のスポーツ施設、もしくは文化施設もありますので、中央公民館、文化センターなど、あらゆる公共施設に活用できないか検討していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。全国的にも自治体が、広告掲載による自主財源確保を行っておりまして、消耗品、備品、ごみ袋、ホームページも町有財産を活用した財源確保を行っておりまして、是非財源確保に南風原町も努めていただけたらと思います。

次に大きい2番の広告及びネーミングライツ導入をの再質問に移りますが、兼城十字路の電光掲示板、あとホームページ等もすぐに始めるべきだと思いますが、その辺もお聞かせ願います。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 兼城十字路のLED電光掲示板、またはホームページのバナー広告等、これも今後検討してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ホームページの閲覧者数、ページビュー数等があれば数字をお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 ホームページの中で上位5、個別でどれを見たかという件数はありますが、トータルの件数については調べないとわかりませんので、現在持ち合わせておりません。すみません。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 調べればわかりはするということによろしいですか。お願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 調査すればできますが、ただ今回、1週間でいろいろな項目を検索している順位づけがありますが、あれが月間で1位が5,484件、1位の閲覧数が5,484件ということで、月ベースでなっております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。やはりこの数字が広告収入に必要だと思いますので、今後もまた教えてください。

次に(2)ですが、キャンプ地やスポーツ戦等、この辺ですが、やっぱり昨年も高校サッカー決勝で黄金森公園陸上競技場が使われておりまして、J1のキャンプもありますし、非常に知名度、J1のクラブチーム等持っていますので、是非ともこの黄金森公園陸上競技場が活用できれば、とても大きい財源確保につながるかと思っておりますが、黄金森公園陸上競技場のJ1キャンプ来場者数は把握していますか。その辺をお聞かせ願います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 こちらのほうは、推定になります。去年が1万人で、今度が5,000人という形で、こちらのほうで推定しています。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。1万人、5,000人と減っていますが、グラмпасが優勝してくれれば多分もっと伸びるのかなと思いますし、やはり広告収入の柱にもなるんじゃないかと思っておりますが、その辺、具体的にできるのかできないのか、ちょっと聞かせていただければと思います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 J1での広告等という形では、少しいろいろと考えていかないといけないと思うんですが、ネーミングライツの部分については、既に実施している市町村がありますので、その辺を調査して、先ほど総務部長の答弁にもありましたように、全体的に導入ができるように考えていきたいと思っております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 ありがとうございます。ちょっと町民の皆様で多分ネーミングライツを知らない人がいると思うので説明させていただきますと、公共施設の名前を付与する命名権と附帯する諸権利のことをいいます。具体的にいうと、スポーツ施設などに名前や企業名、社名ブランドをつけることであり、公共施設の命名権をスポンサー契約できる制度であります。例えばですね、沖縄セルラースタジアム那覇とかコザしんきんスタジア

ム、県内でもさまざまな自治体がネーミングライツ制度を活用しておりまして、施設以外にもイオンモールが北中城村の村道、道路ですね、その命名権を年額150万円で取得。沖縄市においても地元企業の上門工業が市の清掃用制服の命名権を120万円の1年契約で取得しております。そして先日、沖縄市が4月からバス停オーナー制度を導入すると発表しております。オーナーと協賛契約を結んでバス停オーナーの名称を入れたバス停の設置、時刻表やバス内にオーナーの名前や広告掲載を行って、コミュニティーバスの資金確保に活用すると発表しております。この辺ももし把握しているか、答弁いただければと思います。バス停オーナー制度、お願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 先ほど答弁したようにスポーツ施設ですね、あと文化施設、道路、歩道橋等には調査して知っていましたが、このバス停については今、石垣議員から説明があつて初めて知りましたので、この辺も深く広く、あらゆる施設に活用できないか検討していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 いろいろ財源確保は多分資料を出せばあると思いますが、若い人は何かをするときに、最近では銀行にお金を借りるのではなくてクラウドファンディングというインターネットを介した資金調達のやり方を持っていますので、その辺も自治体で活用していただくと、また財源確保の幅も広がるのかと思っております。その辺も含めて、自主財源の確保に努めていただきたいと思いますし、3番に移りたいと思いません。

特産品の海外進出についてですが、海外への販路拡大をバックアップできるような支援ができないかとのことですが、これまでに海外進出したいという事業者から相談等がありましたらお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 今までは海外のお話はありませんでした。

○議長 知念富信君 4番 石垣大志議員。

○4番 石垣大志君 これから多分、もしあった場合に、沖縄県の補助メニューであったり、相談対応をしていただいて、今後の地場産業、特産品開発につなげていけたらと思います。私にも相談があったものですから、この海外進出の補助と対応してくれないかという相談があったので、これからはもしそういう事業者が来た場合には温かい対応をお願いして、質問を終わりたいと思います。

平成最後なので、最後に一言。本年度で退職される方々が多分いらっしゃると思います。長年本町、南風原町の発展のためにご尽力いただき感謝を申し上げます。長い間、本当にご苦労さまでございました。平成最後の議会になりますが、新しい時代に向けて、本町発展のために私自身も邁進してまいりますこととお誓い申し上げ、一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。